

令和元年度「原子力人材育成ネットワーク」報告会
令和2年2月12日（水）10:00～17:00
AP虎ノ門11F Aルーム

高橋運営委員長 ご挨拶

本日は、ご多忙中にも関わらず、令和元年度原子力人材育成ネットワーク報告会へご参加いただきまして、誠にありがとうございます。開会にあたり、運営委員長として一言ご挨拶申し上げます。

この2020年で日本原子力人材育成ネットワークは活動を開始してから10年目を迎えます。

本日の報告会では、今までに取り組んできた活動の成果や課題についてのご報告と、近年原子力産業界でも取組の必要性が論じられるようになりました「多様性」「ジェンダーバランス」についてのご講演をいただくこととしております。

本日のプログラムについて簡単にご紹介申し上げます。

まず、特別講演セッションとして、笹川平和財団会長の田中伸男様、東京農工大学 女性未来育成機構 機構長の宮浦千里様からご講演いただきます。

原子力分野におけるジェンダーバランス改善は、国際的にも喫緊の課題とされており、昨年12月にはOECD/NEAで「ジェンダーバランス改善会議」が初めて開催されました。本ネットワークから参加したものがおりますので、午後にはその報告と、「Joshikai in Fukushima」の報告をさせていただきます。

本ネットワークでは、2014年に10年後の人材育成のあるべき姿に向け、ロードマップを作成、公表いたしました。本ネットワークの5つの各分科会では、ロードマップに沿い、人材育成が着実に推進されるよう活動を行っております。本日の午後の後半の活動報告セッションでは、この活動内容のご報告をさせていただきます。

また、原子力産業界における人材確保・人材育成が抱える課題は、日本全

体として整合性をもって、効果的・効率的に取り組む必要があり、今年度より戦略WGを設立しましたので、その活動内容と次年度に向けた課題についてご報告させていただきます。また戦略案の策定には、継続的な国との意見交換が欠かせません。引き続き、国のご理解とご協力をお願いしたいと思います。

本日の報告会は、国内外の人材育成関係者が集う貴重な意見交換・情報共有の場でもございます。原子力産業界が抱える課題解決に向けて、共通の思いを新にさせていただき、一層ネットワークの輪を広げ、今後の参加機関個々の、また機関横断的な活動の成果が一層実り多いものとなるよう祈念します。

今後も皆様のネットワーク活動へのより積極的なご参加を期待いたしまして開会の挨拶とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

以上